

5キロ圏内住民ら避難

美浜原発 国の防災訓練2日目

関西電力美浜原発（美浜町）の事故を想定した国の原子力総合防災訓練は二日目の五日、国の緊急事態宣言を受けて、原発周辺住民が陸上自衛隊の水陸両用車などを使って避難時の動線を確かめたほか、ドローンで安定剤の薬剤を運ぶ機会に備えて手順を確認するなどした。＝関連⑥⑦面

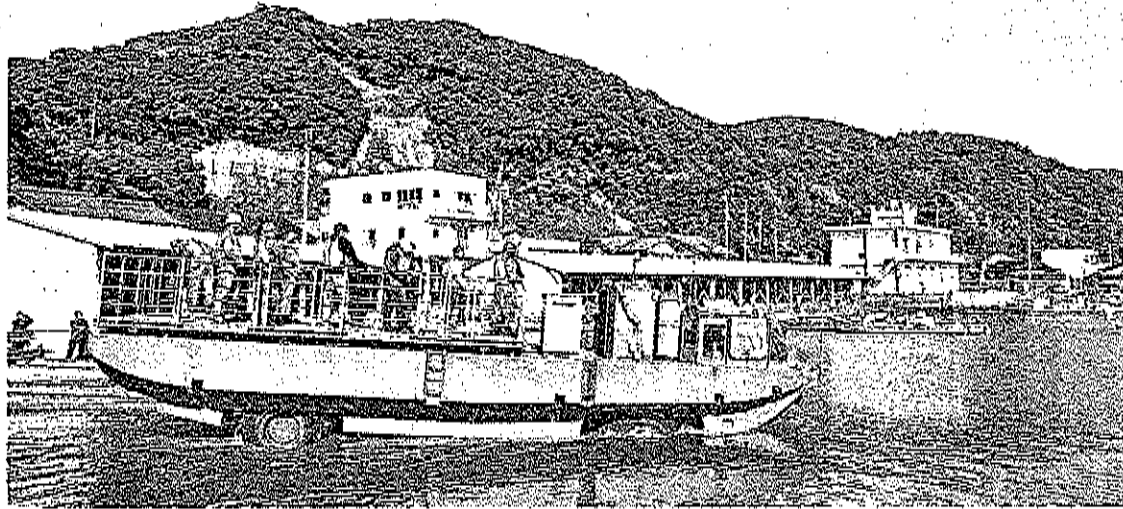
（佐々岡博康）

陸自の水陸両用車も使用

福井地方を震源とする震度6弱の地震で美浜3号機が外部電源を喪失し、原子炉の冷却機能を失う事故が発生したと想定。午前九時半に美浜3号機で原子炉冷却材の漏えいが発生し、

非常用設備の注水機能を喪失して全面緊急事態となったを受け、同十時五十分ごろに岸田文雄首相が緊急事態を宣言した。原発から5キロ圏内の住民は自宅から中学校などに避難し、5

射線量を調べる訓練などを行った。六日は住民が兵庫、奈良、石川の三県をはじめ長距離を移動する広域避難が予定されている。県外への避難訓練は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で見合わせていたため三年ぶりの実施となる。三日間の訓練では、約百五十の関係機関や福井、滋賀、岐阜の三県の住民ら総勢約九千二百人が参加す



陸上自衛隊の水陸両用車に乗り込み、海上からの避難を体験する訓練参加者。11月5日午後1時33分、美浜町美浜で（山田陽徳撮影）